

歯面プラークスコアの客観的評価法の開発

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福田, 昌代, 中村, 美紀, 浅枝, 麻夢可 メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-tokiwa.repo.nii.ac.jp/records/1196

2-P-19

歯面プラークスコアの客観的評価法の開発

福田 昌代¹⁾中村 美紀²⁾ 浅枝 麻夢可¹⁾

【目的】本研究は、患者の口腔清掃状況を客観的にする方法として現在診療現場で用いられているプラーク付着状況の評価法を、歯科衛生士の目視による評価ではなく、画像解析を用いてより客観的に評価する方法を開発することを目的とした。

【研究方法】顎模型の上顎前歯部に人工プラークを塗布し、歯面に付着するプラークを再現した。撮影方法を規格化するために撮影は、口腔内写真撮影用カメラ「アイスペシヤルC-II®」を用いた。撮影した画像を「Photoshop elements 2021」で調整し、画像を切り出し、フリー画像処理ソフト Image J を用いて画像を2値化し、染色されている部分の面積を測定することとした。

【結果及び考察】上顎前歯部6歯の唇面の染色されていない場合の面積を0とする。唇面全面に人工プラークが付着した場合の面積は67567であった。プラークを一部取り除いた状態を想定した場合の面積は49326、1/3程度の付着状態の場合の面積は17520であった。染色結果を写真で撮影し、画像の数値で結果を判定するため、目視に比べてより客観的な結果が得られると考える。しかし、今回の方法では①画像処理に時間がかかる、②画像を切り抜く際にテクニックを要する、③画像の2値化後の判定の際、微妙な部分が測定しにくい、④前歯部唇面以外の口腔内写真撮影の企画テクニックが必要、などの問題点から、改善が必要であると考えている。

1) 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科 2) 保健科学部口腔保健学科